

平成31年（2019年）3月定例議会本会議（3月27日）

### 総務常任委員長報告（請願）

ただいま議題となりました平成31年請願第1号 核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について につきまして、総務常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、3月18日の会議において、陳述人より意見陳述を聴取しました。

次いで、討論において、井坂直委員から、「アメリカ合衆国首都のワシントン特別区議会が3月5日、核戦争の危険を防ぎ、核兵器廃絶を連邦政府・議会に求める決議を全会一致で採択し、首都の議会が決議をあげたことで、他の地方議会での採択の動きに影響を与える可能性が多いにある。また、来年2020年には、核不拡散条約再検討会議がニューヨークの国連本部で開かれ、核兵器禁止条約が大きな争点になることが考えられる。この間、被爆者による体験を伝える活動と幅広い運動が世界を動かしてきたが、平成の時代が終わりを迎える今、日本政府は防衛力の強化を掲げ、長距離巡航ミサイルを開発する方針を固めている。恒久的な平和が達成されたとは言いがたい現状にあっては、被爆国である日本政府が率先して、国際

社会に対して核兵器廃絶に向けた働きかけを積極的かつ早急に行うことが求められることなどから、本請願に賛成する」旨の意見があり、採決の結果、平成31年請願第1号は、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。